



11/11(金)一乗小学校と平泉寺小学校の交流 左:一乗小学校(福井市)右:平泉寺小学校(勝山市)

福井・勝山 石がたり 中世・近世のまちづくり、そして現代



「未来の語り部」とは

令和元年5月、平泉寺や一乗谷などの「石のまちづくり」をテーマとするストーリーが日本遺産に認定されました。これをきっかけとして、勝山市立平泉寺小学校と福井市一乗小学校の交流がはじまります。

両校の児童たちは、日本遺産を学び、発信するため、さまざまなイベントにも参加してきました。自分たちの手で地域を盛り上げ、歴史や文化を未来へと語り継ぐ活動を進めています。

未来の語り部 令和4年度 記録集

一乗小学校と平泉寺小学校の交流

11/11

平泉寺小学校の5・6年生8人が一乗小学校の5・6年生7人を白山平泉寺に招致し案内しました。日本遺産が縁となり令和元年度から両校の交流が始まり、平泉寺を案内するのは今回で2回目となります。平泉寺小学校の児童は2班に分かれ、石畳が残る南谷坊院跡や御手洗池など

の史跡に関して学んだことを、手作りのパネルやクイズを用いて分かりやすく紹介。昨年度よりも内容を充実させ、日頃の練習成果を発揮しました。一乗小学校の児童も、案内を受けつつ質問をしてガイドの方法を学ぶなど、お互いに刺激を受け、仲が深まる交流学習となりました。

